

平成31年3月4日
学長選考会議

国立大学法人鳴門教育大学学長の業績評価結果

学長選考会議は、山下一夫学長の任期が2年半を経過したことから、国立大学法人鳴門教育大学学長の業績評価結果に関する申合せ（平成28年9月29日学長選考会議決定）に基づき、平成29年度の学長の業績評価を実施しましたので、その結果を公表します。

1 評価の実施方法

学長の業績評価は、国の国立大学法人評価委員会による評価結果や経営協議会、大学評議会等における実績等に加え、学長によるプレゼンテーションと、学長と各委員との質疑応答による対話を経て、その業績評価結果の取りまとめ審議を行い、今回の評価を決定した。

2 評価の実施

(1) 学長に対するヒアリング実施日時

平成30年12月7日（金） 14時36分～15時45分

(2) 学長のプレゼンテーション

学長のプレゼンテーションの概要は、次のとおり

①平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果

（平成30年11月20日（火）：国立大学法人評価委員会決定）

②学長のビジョンについて

- 教師教育のリーダー大学について
- 大学運営の目標について
- 大学運営の基本方針について

(3) 学長選考会議委員から、学長就任後の業務等について、以下の観点からヒアリングを行った。

- 学長就任後の感想（特に苦勞した点）
- 今後の方策について
- 教職員とのコミュニケーション及び信頼関係について

3 業績評価結果

学長のプレゼンテーション及び各委員との質疑応答を踏まえ、学長のリーダーシップ発揮状況、学長のビジョンや方向性の浸透及び第3期中期目標期間における平成29年度の取組・進捗状況等を総合的に検討した結果、学長の業務遂行は順調かつ着実に執行されていることを確認した。

今後とも引き続き「教師教育のリーダー大学」として、教育委員会や学校などの要請に応えて、学校現場で活躍できる教員の養成を図るとともに、次世代のリーダー育成にも配慮し、大学運営を進めていただくことを期待する。